

## 学校経営方針

### 1. 学校教育目標

『ともに学び ともに育つ 大道の子』

#### めざす子ども像

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| (1) 心豊かで思いやりのある子 | (2) ねばり強く取り組む子   |
| (3) 学びあい共感しあえる子  | (4) すすんでチャレンジする子 |
| (5) 健康でたくましい子    |                  |

### 2. 学校経営の努力点

学校教育目標を具現化するために本年度の努力点を次のとおり設定し、日々の教育実践に努め、保護者・地域住民からの揺るぎない信頼を確立できるよう努める。

#### (1) 学年のチーム力向上に努める

学級・学年経営にあたっては、学年チームとしての共通理解を図り、学習指導や児童指導における協力指導体制を充実する。また、保護者と丁寧に連携を図りつつ、児童理解を深め、子ども一人ひとりのよさを引き出し、それを伸ばすための取り組みに努める。

#### (2) 学習指導の充実を図る

授業において、子どもも「わかる」「できる」といった達成感を味わい、学ぶことの楽しさを実感できるように教育活動を展開するために、教材・教具の効果的な活用や指導方法の工夫に努める。校内研究により教員同士が教室を開き、学びあいながらよりよい指導法を探っていく。

#### (3) 子どもたちの心の育成に努める

道徳的心情と実践力、規律ある生活態度の育成をめざし、教育活動全体を通して思いやりや個性尊重の心の育成に努める。

#### (4) 研究・研修を活かし専門性を高める

授業実践をはじめ、よりよい教育活動を実現していくために、校内研究や各種研修を活かし、広い見識や指導技術を身につけ、専門性を高める。学習指導要領の趣旨を踏まえ、今日的な課題を意識しつつ研究をすすめる。

#### (5) 学校を開き、保護者・地域・学校間の連携に努める

学校HPなどで学習や生活の情報積極的に紹介し、教育活動への理解の深化を図るとともに、授業参観・懇談会を通して教育家庭との連携を深める。また、社会に開かれた教育課程を目指し、ゲストティーチャー等の積極的な活用を図る。

### 3. 本年度の重点目標

#### (1) 学年経営の充実を図る。

学年に関わる職員が、学年担任という意識を持ち、協力して児童理解に努める。多くの目で一人ひとりの児童の良さや課題を見取り、より多くの情報からより適切な指導・支援を模索していく。また、学年内交換授業や学年での指導案検討等の実践を通して、効率的かつ効果的な授業づくりを目指す。

#### (2) 評価に関する考えや方法を共通理解し、指導と評価の一体化を進める。

児童の学ぶ意欲や自己修正力を一層高められるよう、校内研究や研修等、様々な機会を通して3段階評価についての研究を進める。

#### (3) 業務や会議の効率化を図る。

新しい分掌(体制)について定期的に成果と課題を整理し、実効性のある組織づくりを推進する。また、各分掌で職員会議への提案事項や資料の記録・保管について精査することで、会議や打ち合わせの円滑化・効率化を図る。